

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 5 日作成)

小委員会名	構造設計小委員会	主 査 名：竹内 徹 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：中島 正愛 主 査 名：小河 利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術と芸術の融合により成立してきた空間構造の設計技術・理念の正しい継承・発展の促進を目的とし、主旨に従って各年度の活動計画を立案する。(全期間中)。 ・空間構造の構造設計を成立せしめる理論・解析・設計・施工技術の整理・分析・記録を通じ後進技術者・研究者への啓蒙を図る(全期間中)。 ・新しい設計手法の検証や提案、設計の高度化を目指した活動を行う。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	竹内徹(東京工業大学)、佐々木陸朗(法政大学)、川口衛(川口衛構造設計事務所)、河端昌也(横浜国立大学)、川口健一(東京大学)、坪井善昭(共立女子大学)、金田充弘(東京藝術大学)、大崎純(京都大学)、金箱温春(金箱温春構造設計事務所)、今川憲英(東京電機大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 2009 年度大会(協力)「コンクリートシェルの黎明期を支えた理論・技術・施工-先人の手法をどう学ぶか-」 参加者数 196 名 資料：同名 販売数 306 部
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 近年の空間構造に関する構造設計報告会、現地視察は定期的実施され多くの情報が担保されている。 2. 構造設計手法に関する議論も活発に行われている。
委員会活動の問題点・課題	1. 報告会、現地視察成果の整理、成果物の企画がまだ固まっていない。 2. 全委員会での企画出版物の周知販売が滞っていたが、小委員会および運営委員会内での協力により、解消の目処が立ちつつある。